

ふれあい

(2025) 令和7年7月



緑鯨城会QRコード



本会は、会員相互の親睦を図り、かつ、生涯学習の一環としての学習活動を推進するとともに、地域活動に貢献することを目的とする

発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会
名古屋市鯨城学園
編集 | 緑鯨城会 広報委員会

目次

| | |
|--|----|
| 表紙 細根山 オアシスの森 | 1 |
| 目次・原稿募集・表紙写真のコメント | 2 |
| 令和7年度 緑鯉城会総会・アトラクション | 3 |
| 令和7年度緑鯉城会 会長 ボランティア委員長兼務 鈴木 剛 | 4 |
| 役員挨拶 副会長 総務委員長 杉崎 四郎 副会長 鯉城会幹事 藪下 竹志 | 5 |
| 行事委員長 竹中 夏子 広報委員長 亀井 恒夫 | 6 |
| 新入会員紹介 | |
| 岩田 敦子 宇佐美 純一 太田 辰伸 関上 時根 芹澤 美登利 | 7 |
| 中原 道文 成田 恵子 福原 澄江 吉田 幸士 吉田 千栄子 | 8 |
| 松尾 悟 北川 義次 武藤 正彦 | 9 |
| 38期生 歓迎会 | 10 |
| 扇川遊歩道クリーンキャンペーン | 11 |
| 39期生地域ミーティング 鶴舞公園クリーンキャンペーン | 12 |
| 俳句つれづれ | 13 |
| 自由投稿 | 14 |
| 緑ウォーキング同好会 | 15 |
| 編集後記 | 16 |

ふれあい94号原稿募集!

※令和7年12月発行予定

テーマ：問いません（自由です）地域の紹介・趣味・個人参加活動・行事
旅行の思い出・グルメ・健康法あれこれ・近所の名所等
字数：450文字程度 短歌・俳句・川柳は2首迄

締め切り：令和7年11月10日

申し込み先：広報委員に電話、SNS、メールで連絡ください

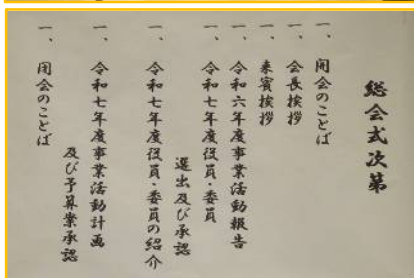
*連絡先は最後のページに記載しています。お気軽にどうぞ。

93号表紙 細根山 オアシスの森

奥野 幸泰 （31期 生活A）

緑区細根山一帯は尾張藩の豪商であった「下郷家」の別荘「小山園」として整備されました。小山園は、景勝地として知られ、特に景観の優れた場所は細根十四景として選ばれました。これらの景観は、江戸時代の地誌『尾張名所図会』にも「細根山一名小山園」として描かれています。下郷知足と親交が深い俳人松尾芭蕉も「小山園」を訪れたと伝えられており、句を残しています。

令和7年度緑鯨城会総会



日時：令和7年4月22日（火） 10：00～11：30

会場：緑文化小劇場

来賓に徳重支所長辻様、鯨城学園担当顧問原田様、緑社協事務局長 吉川様を迎え、会員92名が出席して開催されました。

（委任状提出会員 52 名、当日会員数 2 0 5 名）

* 審議事項、「役員改選の件」・「会則変更の件」・「決算報告」・「予算案」「活動計画」について、全て原案通りに承認されましたので、報告致します。

・ 審議事項の詳細につきましては、令和7年度総会要綱をご覧ください。

役員会・運営委員会

| 役職 | 氏名 | 役職 | 氏名 |
|-----------|-----------------|------------|------------------|
| 会長・区会代議員 | 鈴木 剛 (34期 地域B) | | |
| 副会長 | 薮下 竹志 (37期 地域A) | 副会長 | |
| 鯨城会幹事 | 薮下 竹志 (37期 地域A) | | |
| 総務委員長 | 杉崎 四郎 (32期 国際B) | 総務副委員長 | 薮下 竹志 (37期地域A) |
| 会計担当 | 岩原 文子 (34期 健康A) | | |
| ボランティア委員長 | 鈴木 剛 (34期 地域B) | ボランティア副委員長 | 後藤 芳夫 (37期 福祉) |
| 行事委員長 | 竹中 夏子 (34期 地域B) | 行事副委員長 | 森田 登美子 (33期 健康A) |
| | | 行事副委員長 | 有竹 富美代(34期 地域B) |
| 広報委員長 | 亀井 恒夫 (33期 園芸) | 広報副委員長 | 岸本 三郎 (34期 地域A) |
| 会計監査 | 伊東美智子 (33期 地域B) | 会計監査 | 廣瀬 義忠 (32期 文化A) |

同好会 アトラクション 13：00～14：30

総会終了の午後からは、同好会皆さんの演技、演奏、演舞を楽しみました。舞台と会場が一体となって多いに盛り上がり、共に楽しい時間を過ごすことができましたように思います。

来年は、さらに出演グループが増え、会場には会員の皆さんや学園在校生・OBの皆さんなど、もっと多くの方に来場していただき、緑鯨城会の輪が広がることを期待したいものです。



銭太鼓みどり



オカリナ



緑健康体操



緑リズム体操



緑健康太極拳



うた声サロンみどり

MUCH から BETTER ライフへ



緑鯨城会会長兼ボランティア委員長 鈴木 剛（34期地域B）

本年より緑鯨城会会長を拝命いたしました鈴木剛です。私はコロナ禍に見舞われ2年間の休校を挟み4年かけて卒業した34期生です。楽しみにしていた修学旅行も中止にこそなりましたが、4年間クラスメートと親交を深められた事は貴重な経験になりました。授業で学ぶこともさることながら仲間の長年培われた経験や知恵に学ぶことも多くまさに『我以外皆我師也』です。今も啓発された歴史、陶芸を続けています。今年には昭和100年にあたる年です。戦争、高度経済成長、バブル崩壊、震災、コロナ禍など激動の時代に生きてきました。モノの豊かさを追い、今日より明日はもっと豊かになると思いながら走ってきました。一方で平成以降 IT やグローバル化が進み、価値観や生活のあり方の多様化が広がり戸惑うことも多くなりました。気がつけば人口減少の時代になり自分も高齢者の真ん中に立っています。人生100年時代ともいわれ、1日でいえば夕方を過ぎ心落ち着く黄昏時です。かつては量を求めてマッチモアを良としてきましたが、これからはより良い質を求めてベターな生き方をしていくことではないかと思えます。緑鯨城会は鯨城学園を卒業し同じ緑区に居住する人たちが縁あって集う会です。諸先輩のご尽力により発足36年を迎え、本年会員数205名を数え、16のサークル団体では活発に活動しています。また行政、福祉協議会などとの連携により町づくりの一翼を担う存在にもなっています。一期一会とありますが、人との出会い、互いに尊重しあうことで勇気が湧きます。新たな趣味を始めたり深めたりする挑戦心は自らの人生を豊かにすることでしょう。まさに「自分磨き」です。また元気に鯨城会に参加できることに感謝しつつ、人のために地域の為に役立つことをボランティア活動を通じて行うことも大切ではないでしょうか。緑鯨城会員の皆様が元気で明るく諸活動に参加いただけるよう会運営に努めて参りますので、ご理解ご協力賜りますよう宜しくお願い致します。

若い期の会員が積極的活動参加する環境作り

副会長 総務委員長 杉崎 四郎 (32期 国際B)



昨年度に引き続き、総務委員長の役目を引き受ける事となりました。今年度で4年目となりますが、これは決して良い事とは思っていません。長く同じ役目を担う事は、従来の事を間違いの無い様に淡々とこなす事に慣れ、新しい発想に欠け、マンネリ化に繋がると感じます。この状況を打破するためにはやはり若い期の会員にバトンタッチして世代交代を図る事が必要と考えます。

しかし選ばれて、任務を受けた以上、この一年で最後と思い、緑鯨城会の活性化に取り組みたい。

今年度205名の会員でスタートしますが、幸い38期生が13名入会し、この2~3年で若い期の会員が多くなり、この人たちが積極的に活動参加出来る環境づくりを各委員会、同好会とも連携して取り組んでいきます。

意識改革



緑鯨城会の魅力づくり

明るく楽しみましょう

総務副委員長 鯨城会幹事 薮下 竹志 (37期 地域A)



37期薮下です。地域A卒業で緑鯨城会に昨年入会しました。まだまだ鯨城会の事はあまりよくわかっていませんが、これから鯨城会の歩み、伝統等を諸先輩からご指導頂き、また会員の皆様とご一緒に、明るく楽しめる鯨城会にして行きたいと思っています。幹事の職務としては、本部と緑鯨城会との連携を密にして行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

新しい一歩を踏み出そう!

令和 7 年度の行事計画

行事委員長 (34 期 地域 B) 竹中 夏子



今年度の行事は 親睦会を 1 回、見学会を 2 回、災害対策体験を 1 回名古屋市役所議会傍聴と市役所内見学 1 回を予定しています。

- * 5 月 新入生歓迎親睦会 旅籠茶家「かやかや」にて実施済み
- * 7 月 名古屋市港防災センターにて災害時の対応策など体験
- * 10 月 トヨタ産業技術記念館の見学
- * 11 月 名古屋市役所議会傍聴と市役所内見学
- * 令和 8 年 1 月 でんきの科学館見学

◎防災センターでは災害時にいかに身を守るかを体験できると思います。

◎名古屋市役所では新市長さんと議員さんとの意見交換が楽しみです。

個人での見学は容易ではありませんので、この機会に是非ご参加ください。



自分のホームページ作ってみませんか

広報委員長 (33 期園芸) 亀井 恒夫




広報委員 一昨年に続き 2 度目の亀井です。パソコンいじりが趣味でいかにコスパのいいものを作るかに焦点を絞って組上げていましたが、台数が多くなりすぎて、最近半分以上廃棄しました。また、ホームページにも関心があり、何年か前に広報に手をあげました。ものづくりは得意でも文章は作れず、いまだに句読点を入れずに文字を入れていく癖があり、上手く書けません。仲間には君の文章は、今どきの若者の様だと笑われています。広報誌「ふれあい」は会員の皆様全員のものです、気楽に文章・写真などお寄せください。


本会ホームページは緑区独自のものです、当会全体の様子はもちろん、同好会や期別活動など継続的にお使いいただけます。ページの更新もメールを送る感じです。少し触って自分のホームページも作ってみませんか！





情報発信・情報交換・情報共有で緑鯨城会を盛り上げましょう!!


新入会員紹介

| | | | | |
|---|--|-------------|--------------|-----------|
|  | <small>いわた あつこ</small> 岩田 敦子 | 国際 A | フラダンス | 相原 |
| 私が今一番やりたいことは海外旅行です。 | | | | |
| <p>コロナのせいで老後の旅行計画が完全に狂ってしまい、楽しく海外旅行できる期間があと残り少なくなってしまいました。年金生活になり、余裕もあるわけではないので、行ける場所も限られてきました。それでも海外での異文化や現地でのふれあい、自分自身が少し緊張して過ごすことなど、全てがすきです。もちろん気の緩む国内旅行も好きです。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|---|--------------|--------------|-----------|
|  | <small>うきみ じゅんいち</small> 宇佐美 純一 | 歴史と文化 | ハイキング | 常安 |
| 現在リハビリ中です。 | | | | |
| <p>ナゴヤ RUN (3/9) で転倒して骨折したため、現在リハビリ中です。特に秀でた趣味は持ち合わせていません。ランニング、ウォーキング、ハイキング、クラシック音楽、そしてここ数年歴史に興味を持つようになった75歳です。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|---|-----------|-------------|-------------|
|  | <small>おおた たつのぶ</small> 太田 辰伸 | 園芸 | 社会研究 | 鳴海東部 |
| 学んだ「園芸」を活かして… | | | | |
| <p>我が家は四方、緑に覆われ只今「椿」夢中です。鯉城学園で学んだ「園芸」を活かして、故郷 豊田で荒れ果て猪の出現する原野、山林を耕運機で耕して果樹園と椿園を作り皆に楽しんでもらえるような、整備された緑化地域を目指しています。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|---|-------------|--------------|------------|
|  | <small>せきがみ としね</small> 関上 時根 | 美術 A | ハイキング | 桶狭間 |
| よろしくお願ひ致します。 | | | | |
| <p>緑鯉城会に入会するか迷いましたが、何事もやってみないとわからないと思ひ入会しました。美術専攻、ハイキングクラブ共 OB 会があり緑鯉城会の行事にもなかなか参加できないかもしれませんが、よろしくお願ひ致します。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|--|---------------|-----------|-----------|
|  | <small>せりざわみどり</small> 芹澤美登利 | 健康福祉 A | 写真 | 浦里 |
| ゆっくりやって行きたいと思っています。 | | | | |
| <p>地域ミーティング、区会に参加して緑鯉城会のことを知り、学園卒業後の活動として入会を決めました。何も解りませんが、先輩方の指導の元、ゆっくりやって行きたいと思っています。どうぞ宜しくお願ひいたします。</p> | | | | |



なかはら みちふみ
中原 道文

国際 A

社会研究

戸笠

趣味は硬式テニスで、チェロにも挑戦

年齢とともに時は速く過ぎる」。同じ長さだが、鯨城学園での2年間は若い頃と比べて随分速く感じた。趣味は硬式テニスで、チェロにも挑戦、OB会では太極拳を始めた。仕事もしているため短く感じる分、もっと時間がほしい、と時々欲張りな妄想に耽っています。



なりた けいこ
成田 恵子

暮らし

歩いて知ろう会

鳴子

「どうぞ、よろしく」

34期に音楽専攻し、38期で再入学しました。学園在学中には、たくさんの友人が出来私の財産になっています。これからも緑鯨城会の皆様とつながりを大切に、楽しく過ごしていきたいと思ひます。



ふくはら すみえ
福原 澄江

暮らし

社会研究

桃山

「趣味を探しています」

今までに東海自然学園、シルバーカレッジ、鯨城学園と楽しく参加してきました。でも未だ、コレ!!といった趣味がありません。緑鯨城会には同好会等の活動がたくさんあるので、今後色々なことに参加させて頂きたいと思ひます。宜しくお願い致します。



よしだ こうじ
吉田 幸士

健康と福祉 B

社交ダンス

小坂

「緑鯨城会に入会して」

この度はお世話になります。小坂学区の吉田です。趣味はガーデニングと旅行です。4月から県シルバーカレッジに入学しました。支障のない限り区会のボランティアには参加したいと思ひますので宜しくお願いします。



よしだ ちえこ
吉田 千栄子


音楽 B


大人の社会見学


大高北

これからがとても楽しみです。

緑区に40年近く住んでおります。自宅近辺しかよく知りませんでした学園に通ううちに地下鉄の路線図がやっと頭にはいりました。郷土の歴史を楽しむ会に、二回参加し有意義な時間を過ごさせて頂きました。何より会の皆様の素敵なこと。これからがとても楽しみです。

| | | | | |
|--|--|-----|------|-----|
|  | まつお さとる 松尾 悟 | 暮らし | 気象天文 | 滝の水 |
| | 緑鯨城会入会の抱負 仕事を辞め 新しい友人を作ろうと鯨城学園に入学しました。 年取ると友人が減ってくるんですね。卒業して緑鯨城会で、新しい友人を作りたいと思います。皆さん宜しくお願いいたします。 | | | |

| | | | | |
|---|--|-----|----|-----|
|  | きたがわ よしつぐ 北川 義次 | 美術A | 陶芸 | 熊の前 |
| | 宜しくお願いいたします。 初めまして、今回入会させて頂いた北川と言います。 美術部での水彩画、陶芸クラブでの作陶、入学、体育祭、文化祭、新たな仲間との出会い、あっという間の2年間でした。これからは地域活動を通して地域に役立つよう、親睦を深めさせて頂き、お役にたてればと思います。宜しくお願いいたします。 | | | |

| | | | | |
|--|-------------------|-----|------|----|
|  | むとう まさひこ 武藤 正彦 | 暮らし | 社会研究 | 大高 |
| | | | | |

入会説明会の様子



令和7年度 新入会員歓迎会

行事委員会

令和7年度38期生の歓迎会を5月14日（水）に、名古屋金山ホテル旅籠茶屋 [かやかや] におきまして「歓迎ランチ会」を催しました。38期生の参加7名、その他の期、27期から37期まで17名が参加、合わせて24名で賑やかに美味しく食事を頂きました。一人一人自己紹介をして、終わりに鈴木会長とジャンケンゲームをして勝ち残った5名が商品ゲットするなど、和やかな楽しい時間を過ごしました。

つなげよう・広げよう 緑鯨城の輪



扇川遊歩道クリーンウォーキング2025

緑鯨城会ボランティア委員会

6月7日「緑区クリーンキャンペーンなごや2025」の一環で扇川遊歩道沿いを緑鯨城会会員約49名の参加のもと清掃活動を行いました。

深緑の初夏、幸い気温も23度と絶好のウォーキング日和。徳重と鴻仏目を起点に2班に分かれ扇川沿いをそれぞれ2.5キロを火バサミとゴミ袋を手にクリーンウォーキング。扇川のせせらぎと鳥のさえずりに心が癒されました。もちろん川べりもキチンとクリーンアップ。郷土の美化に少しは貢献できたかと思うと晴れやかな気持ちにもなりました。皆様、ご苦労様でした。



39期生地域活動講座（地域ミーティング）開催

総務委員長 杉崎 四郎（32期 国際B）

6月10日(火)、緑区社会福祉協議会研修室で39期生対象の地域ミーティングが開催されました。対象者49名中、23名の出席者でちょっと寂しい感もありました。最初に鯉城学園の原田担当顧問の挨拶、緑鯉城会鈴木会長挨拶で始まり、本日の中心の講座では瀬古次長より社会福祉協議会の概要説明、いきいき支援センターの渡辺さんより介護保険等の説明があり、皆さん熱心にメモ取りながら聴講していました。いきいき支援センターの講義の中で、特にリフレッシュ体操の場面では、皆が一緒に立ち上がって笑いも含め和気あいあいの雰囲気でも盛り上がりました。

緑鯉城会の各委員会の説明、特に同好会の説明は39期生としては初めてでも有り、緑リズム体操市川代表の説明と全員でのリズム体操、うた声サロンみどりの小澤代表から昔懐かしい歌を唄って楽しんでいますとの説明、皆さん興味を持って貰ったと思います。

同好会の体験入学の案内、秋の趣味の作品展の案内をして終了しました。あっと言う間の時間でしたが、今回の地域ミーティングが参考になって、来春には39期生の多くの皆さんが緑鯉城会に入会する事を期待します。



鶴舞公園クリーンキャンペーン

ボランティア委員会 高野 孝（31期 国際B）

今年の鶴舞公園クリーンキャンペーンは、雨天順延により、6月21日 梅雨空の合間の開催となりました。清掃活動場所も昨年の公園東南から西北の鶴舞公会堂周辺に変更になり 緑鯉城会 15名、39期健康福祉学科B 9名、40期健康福祉学科B14名 とコラボして 公園の花々を愛でながら暑さに負けず 元気に活動できました。参加皆様 ご協力ありがとうございました。



俳句つれづれ（12）

30期文化 A 平田 秀

先頃、南大高イオンモールに行った時の話です。モールの中に「南大高中日文化センター」があり、いろいろ受講できる講座に俳句の講座がありました。その俳句講座のチラシを見てましたところ、キャッチコピーのうまさに感心しました。曰く「俳句はポエム」。俳句は詩ですということでしょうか。詩とは日々の中で浮かんだ感情とか思いを表現し情緒を感じさせる文章と理解していますが、私が思っている俳句への思いと全く同感だと意を強くしました。最近になって、俳句は万物について自分の感動を表現することだと強く思っています。また自分自身を知る方法の一つとさえ思っています。俳句には約束事がありますが、基本的には、5, 7, 5の17文字の字数を守ること、その中に季語を入れることで、その枠の中に感動の表現を収めるのです。勿論、尾崎放哉の「咳をしても一人」といった自由律の句もありますが、まだまだの私には、枠をはみ出す勇氣はありません。いわゆる「有季定型」の中で俳句を作っていくのです。

ただ、俳句が感動の表現であると言っても、作者の自己満足だけではいけません。読者との感動の共有が必須です。そのために俳句を作るうえで表現の約束ごとを知ることも必要です。それは俳句に感動を織り込もうとした対象を強調する手法です。「文法」を少し齧ることで俳句の型を知る方法もあるでしょう。文法というと堅苦しいですが、俳句を作っている人のことを「や」や「かな」をやっていますというのも俳句が感動の強調表現だからでしょう。テレビ番組の「プレバト」で夏井先生が盛んに言っているように感動を強調する字句を使ってメリハリをつける作句方法です。これを「切れ字」と言います。別な言い方をすれば、俳句には句意が大切で、切れ字は言わば詠嘆をして句意を確かなものにする用語なのです。切れ字には、「や」「かな」のほかにも「けり」とかがあります。

まず、「や」を使い、その上の言葉を詠嘆する拙句に、「切干や母に近づく句ひあり」があります。これを原句の「切干に母に近づく句ひあり」と較べると、切干が「や」によってひとまず意識が分断され後の中七下五の言葉を影絵のように浮かび上がらせて句に深みと厚みを持たせる効果があります。切干の形や句いから母への思いが強調されて句いの繊細な嗅ぎ取りまで深読みが可能となります。

もう一句拙句です。原句は「風薫るカフェの特等テラス席」この句でもカフェの様子は見えてきますが、少し散文的です。ちなみに俳句は読者に思いを想像させる面から説明的であることを嫌います。「風薫る」は「薫風」と言い換えられるので、「薫風や」と詠嘆します。「薫風だなー」という作者の気持ちが高揚したところで「薫風やカフェの特等テラス席」と中七下五を置くことで格調とリズムが出ます。

次回の「俳句つれづれ」では、「かな」と「けり」の切れ字の効果を事例でご紹介したいと思います。「わたしはもっと“や”：“かな”をやっている人」を目指したいです。左様に切れ字は俳句の代名詞でありますし、感動の深みへ導いてくれます。俳句は感動の表現であると言われる所以です。



★愛知伝統工芸品探訪シリーズ 1



七宝焼きは、陶磁器ではなく金属の素地にガラス質の釉薬を焼き付けた美しい工芸品です。

七宝焼きの名称は、仏教の経典に登場する「七宝（しっぽう）」に由来するとされています。この七宝とは、極楽浄土を飾る七種類の貴い宝のことで、これらの貴重な七つの宝に匹敵するほど美しいことから、「七宝焼き」という名前が付けられたとされています。

尾張七宝焼は、愛知県の尾張地方、特に現在のあま市七宝町とその周辺地域で発展した七宝焼です。その歴史は、江戸時代後期に始まります。

起源と発展

- **梶常吉の登場:** 尾張七宝の祖とされるのは、尾張藩士であった梶常吉（かじつねきち）です。文化年間（1804-1818年）に書物で七宝の存在を知り、その美しさに魅せられた常吉は、独学で研究を重ねたと伝えられています。
- **オランダ渡りの皿との出会い:** 文政年間（1818-1830年）には、長崎から名古屋の骨董商を経由して入ってきたオランダ船渡りの七宝皿を手に入れ、これを参考に研究を深めました。
- **国産七宝の誕生:** 天保年間（1830-1844年）、常吉はついに国産の七宝焼を完成させたとされています。これが尾張七宝の始まりです。
- **尾張藩の奨励:** 尾張藩は、常吉の技術を奨励し、七宝焼は尾張の特産品の一つとして発展していきます。
- **明治時代の隆盛:** 明治時代に入ると、尾張七宝は国内外の博覧会に出品され、その美しい色彩と繊細な技術が高く評価されました。特に、有線七宝の技術は尾張七宝の代表的なものとなり、多くの名工が輩出されました。林小伝治はその代表的な作家の一人です。
- **地場産業としての定着:** 明治から昭和にかけて、七宝焼は尾張地方の重要な地場産業として発展し、多くの窯元が軒を連ねました。



学芸員さんに七宝焼きの歴史と作品工程、伝統工芸の継承について詳しく案内していただき、繊細な技術と華麗さに感銘を受けました。

又、天皇、皇后両陛下が来館時に説明された時の様子を、楽しくユーモラスに語っていただきました。しかし、産業としての現状は衰退傾向にあり、技術の継承も難しくなっているようです。

出欠連絡不要な、集合場所・時間に参集すれば自由に参加出来る気軽な同好会です。
手軽に体力維持ができ、様々な地域の風物に触れることが出来るウォーキングを是非一緒に楽しみましょう。

報告！ ウォーキングしました 😊

2025年 4月30日 (水) 海上の森ウォーキング 10名参加



[参加者の声] 天気も良く暑いくらいで、新緑と綺麗な藤に癒されました。木漏れ日の中を歩く快適な山歩きでした。山藤の花、三つ葉ツツジにマムシソウ、ハルリンドウなどの山野草に新緑と自然を存分に楽しみました。

2025年 6月1日 (日) 日付変更 豊川市 東海道 赤坂宿 大橋屋 御油の松並木 8名参加



[参加者の声] 天気も良く風も爽やかな中のウォーキングでした。赤坂宿の成り立ちまで知ることができました。1000歳の楠もあり、御油の松並木もきれいに整備されており、車に注意しながらも楽しく快適に歩けました。

これからのウォーキング案内

2025年9月30日 (火) 半田 矢勝川堤 彼岸花に染まる矢勝川堤を歩きます

集合時間 9:10 名鉄神宮前 改札口 交通費 往復 1,260円
神宮前9:22→9:37太田川9:39→10:02半田口

距離 約6Km 2時間 レベル1

持ち物: 弁当、飲み物、雨具、敷物 など

コース 半田口→でむし広場→矢勝川堤防→ごんぎつね像→植公園→半田口

2025年10月30日 (木) 遠見山・南天の滝 川辺町岐阜県 272mの低山 岐阜のグランドキャニオン!

集合時間 8:35 名鉄名古屋駅 中央改札口 交通費 往復 2,220円

名鉄 名古屋8:45→9:22新鵜沼

JR 鵜沼9:32→9:44美濃太田9:54→10:08下麻生 (マナカ使用不可 切符購入 420円)

距離 約4Km 3時間 レベル 1, 2

持ち物: 弁当、飲み物、雨具、敷物 など

コース 下麻生駅→金昌寺→南天の滝→みどりの展望台→遠見岩→見晴らし岩→下麻生駅

帰りの時刻 下麻生 発 12:53、14:55、17:12 (本数が少ないです。)

2025年11月30日 (日) 港区を巡る

築地口から藤前干潟まで歩きます。

集合時間 9:50築地口交差点南西角 錨の噴水

参考 市バス 地下鉄鳴子北9:06→9:44築地口 (地下鉄出口)

距離 約7Km 2時間 レベル1

持ち物: 弁当、飲み物、雨具、敷物 など

コース 築地口→中川口通船門→フェニックスアイランド→稲永公園→藤前干潟→野跡駅

毎回の
注意事項 *服装・持物* : 帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・敷物・保険証・(*弁当) 等
前日の天気予報で9時~15時までの降水確率が40%以上は中止です!

作品募集のお知らせ

みどり こ じょう かい
緑区 緑鯉城会

第30回 令和7年 緑区市民まつり協賛事業

趣味の作品展

絵画 陶芸 絵手紙 写真 短歌 俳句 川柳
パソコン作品 工芸 絞り 書道 甲冑 その他

出展者 緑鯉城会会員・緑区在住の方

日時 11月1日(土)～2日(日)
9時30分～16時30分 9時30分～15時

場所 緑区役所2階講堂

協賛：共同募金助成事業・緑区社会福祉協議会
名古屋市青年大学 鯉城会
お誘い合っでご来場下さい お待ち申し上げます

お問い合わせ先 緑鯉城会会長 鈴木 剛 090-8181-7267
実行委員長 杉崎 西郎 090-6763-0014

緑鯉城会の「趣味の作品展」は令和7年で30回を数えることとなりました。

出展は緑鯉城会の会員は勿論のこと、会員以外でも年齢を問わず、緑区在住の方【個人】であれば、どなたでも応募できます。又、お知り合いの方にもお声をかけていただき、できるだけ多数の出展にご協力をお願い致します。

※ 申込期限は9月30日(火)です。
詳細は同封のチラシをご覧ください

編集後記

今回の93号の表紙は「細根山」です。場所は名鉄有松駅を降りて、ショッピングモールの中を通り抜け東陵中学校、交番の前を通過して鳴海団地の方へ入り、少し坂を上がりますと左に森が見えてきます。有松駅から徒歩15分くらいでしょうか…。公園の入り口に「細根山オアシスの森」の標識があります。写真のように竹林が広がり、きれいに整備された散策路も風情ある竹垣で作られています。決して広くはありませんが、どこも同じように見えて迷子になりそうです。これからの季節は蚊が多くいますのでそれなりの対策をしてお出かけください。表紙の説明にあるように景勝地として有名でしたが、日本住宅公団の団地開発と伊勢湾台風の影響による荒廃で、今ではその多くは見ることが出来ません。

広報委員会

33期 亀井 恒夫 070-4377-1465 k_thskt7571@qc.commufa.jo

34期 岸本 三郎 080-3632-6345 s_kisy5@rx.tnc.ne.jp

37期 早川 美知子 090-4794-6596 hello_h@mb.ccnw.ne.jp

25期 水谷 健二 090-2617-4782 nwjh2gla@gmail.com

29期 熊田 八郎 090-9918-9034 balangxiongtian@gmail.com

31期 奥野 幸泰 090-6093-0183 yukiAR1105@outlook.jp

25期水谷さん、29期熊田さん、31期奥野さんは広報サポーターとしてお願いしております。

緑鯉城会オリジナルホームページ

<https://midori-kojyo1989.jimdofree.com>

スマホ・タブレット・パソコンから閲覧(QRコード&URLからアクセス)